



2019年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年10月1日

上場会社名 株式会社オークワ 上場取引所 東
 コード番号 8217 URL <http://www.okuwa.net>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 神吉 康成
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役執行役員管理本部長 (氏名) 東川 浩三 (TEL) 073 (425) 2481
 兼 IR室長
 四半期報告書提出予定日 2018年10月1日 配当支払開始予定日 2018年10月23日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年2月期第2四半期の連結業績 (2018年2月21日～2018年8月20日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年2月期第2四半期	130,772	△1.6	1,037	165.1	1,208	120.1	969	6.4
2018年2月期第2四半期	132,930	△0.1	391	△59.0	549	△51.2	911	0.7

(注) 包括利益 2019年2月期第2四半期 547百万円(36.3%) 2018年2月期第2四半期 401百万円(△62.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年2月期第2四半期	21.73	21.73
2018年2月期第2四半期	20.42	20.42

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年2月期第2四半期	139,757	77,515	55.4
2018年2月期	135,770	77,544	57.1

(参考) 自己資本 2019年2月期第2四半期 77,475百万円 2018年2月期 77,501百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年2月期	—	13.00	—	13.00	26.00
2019年2月期	—	13.00	—	—	—
2019年2月期(予想)	—	—	—	13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年2月期の連結業績予想 (2018年2月21日～2019年2月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	269,000	0.1	3,300	53.9	3,550	50.9	1,200	19.8	26.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、添付資料6ページ「(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年2月期2Q	45,237,297株	2018年2月期	45,237,297株
------------	-------------	----------	-------------

- ② 期末自己株式数

2019年2月期2Q	612,748株	2018年2月期	620,265株
------------	----------	----------	----------

- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2019年2月期2Q	44,620,562株	2018年2月期2Q	44,625,540株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(重要な後発事象)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善が進み、緩やかに拡大しているものの、海外経済の不確実性、金融市場の変動の影響や貿易摩擦問題など、景気の動向は不透明であり、景気の上昇を実感できない状況で推移いたしました。

小売業界におきましては、個人消費が依然として先行き不透明な状況が続いており、また、業種業態を越えた競争激化も継続し、環境は厳しさを増しております。

このような状況下において、当社は年度スローガンを『業務改革と働き方改革を推し進め、お客様満足度・従業員満足度アップを実現しよう』といたしました。

このスローガンのもと、前期に本稼働した「オーデリカファクトリー安八」（岐阜県安八郡安八町）により効率改善が進み、新規商品の開発拡大により製造高も順調に推移しております。

また、各店舗では自動発注システムの活用により発注時間が削減され、効率化に繋がっております。

店舗の改装につきましては、「スーパーセンター桜井店」（奈良県桜井市）にダイソー売場導入の改装を実施いたしました。また、「南摂津駅前店」（大阪府摂津市）、「五条店」（奈良県五條市）、「松阪下村店」（三重県松阪市）では全面改装を実施し、ベーカーリー・惣菜バイキングの導入、イートインコーナーの新設を行い、お客様の利便性の向上を図りました。なお、「プライスカット三雲店」（三重県松阪市）は来春新築建替えに向け閉店をいたしました。

この結果、第2四半期において客数は前年同期比97.2%でありましたが、客単価は101.6%と前年を上回りました。

連結子会社については、食品スーパーの㈱ヒラマツは、減収となったものの、外食の㈱オークフーズは、売上・利益ともに改善いたしました。また、㈱リテールバックオフィスサポートは、当社グループ内を中心に店舗・施設の管理業務を継続して行い、グループ全体の業務効率化に寄与しております。

以上により、当第2四半期連結累計期間における当社グループの営業収益（売上高及び営業収入）は1,307億72百万円（前年同期比1.6%減）、営業利益は10億37百万円（前年同期比165.1%増）、経常利益は12億8百万円（前年同期比120.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億69百万円（前年同期比6.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産合計は、前連結会計年度末に比べ39億87百万円増加し、1,397億57百万円となりました。流動資産では50億34百万円の増加であり、これは主に現金及び預金が42億6百万円増加したことによるものであります。固定資産では10億46百万円の減少であり、これは主に有形固定資産の「その他（純額）」に含まれる建設仮勘定が8億15百万円増加した一方、建物及び構築物（純額）が6億97百万円、有形固定資産の「その他（純額）」に含まれるリース資産が3億39百万円、投資その他の資産の「その他」に含まれる投資有価証券が9億62百万円減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ40億16百万円増加し、622億42百万円となりました。流動負債では39億98百万円の増加であり、これは主に支払手形及び買掛金が25億94百万円、流動負債の「その他」に含まれる未払金が12億27百万円増加したことによるものであります。固定負債は17百万円の増加であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ28百万円減少し、775億15百万円となりました。これは主に利益剰余金が3億89百万円、退職給付に係る調整累計額が70百万円増加した一方、その他有価証券評価差額金が4億92百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年2月期の業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績等を踏まえ検討した結果、2018年4月2日に公表いたしました業績予想からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年2月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年8月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,459	15,666
受取手形及び売掛金	3,241	3,678
商品及び製品	9,883	9,937
その他	3,188	3,527
貸倒引当金	△37	△38
流動資産合計	27,736	32,771
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	49,615	48,918
土地	32,688	32,635
その他(純額)	6,754	7,196
有形固定資産合計	89,059	88,750
無形固定資産		
その他	4,123	4,041
無形固定資産合計	4,123	4,041
投資その他の資産		
その他	14,863	14,207
貸倒引当金	△12	△13
投資その他の資産合計	14,850	14,194
固定資産合計	108,033	106,986
資産合計	135,770	139,757
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,997	15,591
短期借入金	7,020	7,060
1年内返済予定の長期借入金	4,160	4,410
ポイント引当金	1,395	1,612
その他	13,321	14,217
流動負債合計	38,894	42,893
固定負債		
長期借入金	9,903	10,273
退職給付に係る負債	108	98
資産除去債務	2,730	2,748
その他	6,589	6,228
固定負債合計	19,331	19,349
負債合計	58,226	62,242

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年2月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年8月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,117	14,117
資本剰余金	15,023	15,019
利益剰余金	48,261	48,650
自己株式	△810	△799
株主資本合計	76,591	76,987
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	993	501
退職給付に係る調整累計額	△84	△13
その他の包括利益累計額合計	909	487
新株予約権	42	40
純資産合計	77,544	77,515
負債純資産合計	135,770	139,757

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年2月21日 至2017年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年2月21日 至2018年8月20日)
売上高	128,384	126,207
売上原価	95,951	93,334
売上総利益	32,433	32,872
営業収入		
不動産賃貸収入	1,673	1,672
その他の営業収入	2,871	2,893
営業収入合計	4,545	4,565
営業総利益	36,978	37,438
販売費及び一般管理費	36,587	36,400
営業利益	391	1,037
営業外収益		
持分法による投資利益	30	41
リサイクル材売却収入	43	56
受取配当金	59	46
その他	92	89
営業外収益合計	226	233
営業外費用		
支払利息	56	51
その他	11	10
営業外費用合計	68	62
経常利益	549	1,208
特別利益		
固定資産売却益	1	2
投資有価証券売却益	1,077	751
その他	42	17
特別利益合計	1,122	771
特別損失		
固定資産売却損	82	-
固定資産除却損	94	140
減損損失	-	75
賃貸借契約解約損	0	232
その他	13	1
特別損失合計	190	448
税金等調整前四半期純利益	1,480	1,531
法人税等	569	561
四半期純利益	911	969
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	911	969

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年2月21日 至 2017年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年2月21日 至 2018年8月20日)
四半期純利益	911	969
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△626	△492
退職給付に係る調整額	116	70
その他の包括利益合計	△509	△422
四半期包括利益	401	547
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	401	547
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(重要な後発事象)

2018年9月4日に台風21号が上陸し、近畿圏を中心に一部の店舗、食品工場等において、暴風雨や停電に伴う建物、設備、商品等の被害が発生いたしました。この災害による被害額及び保険金額に関しては現在調査中ではありますが、業績への影響は限定的と見込まれます。

なお、現在、すべての施設において営業を再開しております。